革新
No.2
'69 4.25
全国革新グループ
全議明大支部

本日全明学生大会に総結集せよ！

直ちにクラス決議を樹立させ大衆的ストで

4・28沖縄奪還斗争を斗い抜け！

明大生田地区の全ての先進的学友諸君！

本日の全明学生大会は、四二八沖縄奪還斗争を目指す具体的方針をキリ抜くための討議の場であると同時に、去る四月十二日の機動隊乱入と一つの契機としてスタートした、本来的な大学のあり方（学園闘争）は、奪還斗争と共に討議してゆく極めて重要な学生大会として提起されている。

「明大・リ教授・職員」宣言

「十名の機動隊学友を結果として傷つけた団交の内容は「大学の自治」に対する討論が主要に展開された。具体的には、四二年「学費」斗争以后の教育改の動きが全く変わっていない事、それは、第一に、四一二の機動隊の乱入后の「教職員に協力への不当者処分」「大学の自治」をめぐる以下の教職員の連帯の表明」として、すでに崩壊しつつある。現状の塔に今なお幻想をいだくものであり、第二に、「学費値上げ」の主要な根拠であった設備の充実については、今なお、全く貧困極まりないものである事が、暴露された。更に、実際に学生と接している大学院生、助手からは、四実を明、大学行なわれている「学費」に対する根底的批判と抗議がなされ、又、大学院には「現実上必要な最低限度の要求書」が出されたが、それが保障されていない事が暴露された。

又、工学部で「工業新聞会」という、学生の寄付金によって運営している会が現実には、その寄付金は全く学生には返されていない事も暴露された。

四・一二機動隊乱入は、何を意味するか

四一二の機動隊の学園への乱入は、単に、日大の学友だけでなく、全国の学生の闘争であり、現在、全国レベルの闘争として位置づけられ、又、それ故に国家権力との決定的対決の問題に迫られている。

従来、学園への警官導入に関しては、総長の平常言説が必要とされていたが、東大斗争の1/19以降の警官の学内常駐、今迫に、改憲は、学園への機動隊導入に関して、先日の教官連盟のように、「学長の言葉なく導入する」と、直接的な、学生自治弾圧を実行しようとしている。―この様な反国家的、学生自治弾圧の一貫として今回の機動隊乱入があるのだ。

1968大学斗争以后、政府・独占は、ないくずし的な大学への介入を行なって来た。その中で今や「大学の自治」は全くこのような攻撃に対応することができないばかりか、逆に、学生を「被管理者」、「教育者」とする自主規制路線と大学内で貫徹しているのだ。

そして、現在、政府、文部省は、更に、総合教育と根本から否定する大学の再編成、目的化、大学院大学や、学長の権限強化、副学長制化、大学の帝国主義的再編を行なおうとしている。

それだけ、なによりも、中教審答申により、明らかにすることができる。

我々は、今こそ、明大の根本的改革への斗いを開始し、その中で、中教審答申粉砕の為の教育改革プロセスを構築、斗い抜こうと思う。

四・二八沖縄奪還斗争を生き抜くストで斗い抜き、沖縄奪還斗争の革命的前進を！

四・二八斗争は、既に、宣言された。

明日、沖縄現地からの本土への遊撃隊三三〇名を、初五、四、二八斗争への第一段階の斗いとして、時間、闘争、行動総決起集会に、我々明大生は、数名の代表派遣を決定し、闘争、民衆と固く連帯した斗いを、大衆的に斗い抜く事を確認してきた。

現在、明確に政権奪取して来た沖縄、内閣の傀儡は、単なる第二国会としての民衆主義的「補政権」、返還協定として、又は、「沖縄問題」斗争として存在しているのでもない。それは、極めて、現在のアジアの全民衆闘争を打破する、すなわち、平和共存の国際関係を打ち立てる環としてキリ抜かれねばならない。

沖縄は、戦後二十三年間、貫くに米軍支配下に置かれ、民族、自分らの生きる権利、民主主義的諸権利を一つ一つ斗い取ってきた。

そして、日本は、二四ゼネストを主要な中で、沖縄の利害を根底としている事、そのものの撤去を斗い取る斗争を第一国斗い抜いたのである。

今、民族は、第二の「第二の基地」により、基地公害論、自らの人間としての存在さえも否定されている中で、千歳の斗いを押し進め、着々と十一月佐藤首相に向けての再度の総ゼンスト体制の確立を目ざしている。

こうした状況の中、今、沖縄奪還斗争の新段階的前進の最大の課題となる本土に於ける斗争は、強く不充分である。

現在、本土に於ける斗争は、沖縄奪還斗争の前進の為に必要なのは、第一に、沖縄斗争が、ベトナム反戦、安保斗争と極めて密接な関連を持ち、又、10・10安保、アジア政策、ベトナム侵略と、第二に、沖縄が、その結果として、沖縄現地に於ける斗いも、孤立した斗争となるであろうこと、第三に、二十三年間の長期にわたって、沖縄を放置してきた本土に於ける我々の責任の問題としてである。

我々は、今こそ、この様な長期にわたる政府、支配層の帝国主義的再編その中の一つ一つ粉砕していく斗いを創出しようではないか。

四・二八斗争を、70年安保への先制的第一撃に！

全ての学友は、要日の課題の下に結集せよ！

本日の全明学生大会は、このような状況を踏まえるなら、極めて重要なものとなる。

我々の要求は、

本日 PM 3:00 神田、本郷に結集せよ！

スローガン

、四・二八斗争を全学生ストで打ち抜け！
、沖縄の即時返還、条件闘争粉砕！
、教育基本法改悪反対！
、侵略的「新」憲法粉砕！
、総合教育計画全面撤去！
、70年アジア、極東安保粉砕！
、沖縄奪還斗争万歳！
、沖縄現地武装闘争万歳！
、沖縄現地佐藤内閣打倒！